



### 豊和銀行との共催により「夏休み親子スクール」を開催しました



8月22日(水)、豊和銀行との共催により、平成24年度「夏休み親子スクール」を同行本店で開催し、19組48名の親子が参加しました。

本スクールは、児童に健全な金銭感覚を身に付けてもらうとともに、自分達の生活に身近なお金の役割・流れ・大切さなどについて、理解・関心を深めてもらうことを目的に開催したものです。

豊和銀行 権藤 淳 頭取による開講挨拶のあと、同行職員より「お金の働き、銀行の役割」について説明がありました。

このあと、「一億円(模型)を持ってみよう」、「窓口・貸金庫見学」、「札勘」、などの体験を行いました。また、「端末操作」体験では、予め自分で記入した伝票の金額を端末に入力し、自分の名前が入った本物と同じ様式の預金通帳(模擬)を作りました。通帳に自分の好きな金額を入力した子どもたちは、「これが本物だったらいいな」とか、「大きくなったらお金を貯めて、本物の預金通帳を作りたい」と夢を膨らませていました。

続いて行われた「名刺交換」では、同行が用意した各人の学校名、学年、名前が印刷された名刺を使い、他の参加者や同行職員と名刺交換を行いました。最初はぎこちなかった子ども達も数を重ねるごとに堂々とした態度でやり取りができるようになり、「新学期になったら学校でも友達に配り、驚かせたい」との声も聞かれました。

最後に、当委員会金融広報アドバイザーによる「お買い物ビンゴゲーム」を行い、ゲームを通じておこづかいのやりくりや「おこづかい帳」の付け方を学び、夏休みの一日、親子でお金の大切さなどについて楽しく勉強しました。

「夏休み親子スクール」の様子は、当委員会のホームページ(「知るぽると大分」で検索)で詳しくご覧になることができます。

### 日出町、臼杵市で「巡回金融講座」を開催しました

今年度、県内6市町において開催予定の「巡回金融講座」のうち、9月14日(金)に日出町で、同19日(水)に臼杵市で、それぞれ市町との共催により開催しました。

日出町では、政丸 延子金融広報アドバイザーが、「悪質商法にはだまされない!!」と題して講演を行いました。

講演では、「平成23年度中に県消費生活・男女共同参画プラザ(アイネス)に寄せられた消費生活相談件数は、4,347件で、20歳代未満から60歳代までの幅広い年代において、インターネットを通じての情報提供サービス(デジタルコンテンツ)に関する相談が最も多くなっています(詳細は裏面をご参照下さい)。

また、最近の悪質商法の手口として、水道水や床下などの無料点検のあと高額な契約を迫る『点検商法』、大豆、原油、都会のマンションへの投資を持ちかける『利殖商法』など、次々に新手の詐欺商法が横行しています。

いずれの場合にも、『世の中に上手い話は絶対ない』と考えて行動するとともに、訪問販売の場合などに適用される『クーリングオフ』の制度などについて知っておくことも重要です」と述べました。



当委員会では、今年度中に、日田市(10月22日<月>)、大分市(10月31日<水>)、豊後大野市(11月15日<木>)、別府市(来年2月26日<火>)においても「巡回金融講座」を開催予定で、現在受講者を募集しています(いずれも定員になり次第締切)。詳細は、当委員会のホームページでご覧になることができます。

